

「みんなで取り組む青刈りトウモロコシ生産現地検討会」を開催します

近年の飼料価格高騰を受け、畜産農家では自給飼料を生産する重要性が高まっています。

県西農林事務所では、畜産農家に向けて、同一ほ場で 2 回飼料を生産できる青刈りトウモロコシ二期作の技術を推進することに加え、連作障害の対策や農地を有効活用するために、耕種農家にも青刈りトウモロコシ生産に興味関心を持っていただくことを目的として、現地検討会を開催します。

報道機関各位におかれましては、是非取材いただきますようお願い申し上げます。

【日 時】 令和 7 年 7 月 30 日（水） 13:00～15:30

※雨天決行（雨天の場合は屋内会場での説明のみ、現地は自由見学）

【会 場】 ①屋 内 会 場：ヒロサワ県西総合公園 クラブハウス内会議室
茨城県筑西市桑山 2818

②現地検討会会場：坏牧場現地ほ場
茨城県筑西市桑山 2547 番地外



【参集範囲】 畜産農家（酪農家）、耕種農家、地域農業再生協議会、県・市町関係者 等

【内 容】**1 屋内会場 13:00**

- ・坏牧場と二期作ほ場の概要
 - ・水田転換畑等における青刈りトウモロコシの利活用について
 - ・種苗会社からの品種紹介
 - ・耕畜連携での飼料作物生産優良事例紹介（青刈りトウモロコシとかんしょの取組） など
- ※終了後、現地会場へ車にて移動（10 分程度）

2 現地検討会会場 15:00

- ・青刈りトウモロコシ二期作ほ場の収穫実演
- ・7 月下旬から 8 月上旬刈り取り品種比較実証圃見学（自由見学）



参考資料

○青刈りトウモロコシとは

飼料用トウモロコシ（デントコーン）を、実が完全に熟す前の黄熟期に収穫し、茎、葉、実をすべてまとめてサイレージ（発酵飼料）として利用するもので、主に乳用牛の飼料として用いられます。

○サイレージ調整方法

いくつかの方法がありますが、今回の検討会では以下のようなロールベールサイレージを調製します。



○コンビネーションベラーJCB1810

今回実演するのは2024年8月発売の新型機種です。通常は作物種によって対応する収穫機が異なりますが、飼料イネ、デントコーン、ソルゴー、飼料ムギなど多種多様な飼料作物の収穫が可能な汎用性に優れた機種です。



○青刈りトウモロコシ写真

